

習志野市議会議員

No. 116

# 藤崎ちさこニュース

ホームページ 藤崎ちさこ <検索

2019年 1月22日  
藤崎ちさこ後援会  
習志野市  
袖ヶ浦 3-7-5  
☎ 090-8312-7845



## 2019年

本年も宜しく申し上げます。

2019年が始まりました。本年は、新しい年号に変わり新しい時代となります。市民の皆様にも市議会・政治などについてお伝えし、関心を持っていただき、慣例等にとらわれず、暮らしが向上することを目指し、一緒に考えていけたら最高と感じております。どうぞ、よろしく申し上げます。

### 毎月勤労統計の 不正調査問題は!?

厚生労働省による毎月勤労統計が、長年にわたって不適切な調査が行われてきた事が明らかになりました。

勤労統計では、従業員 500 名以上の事業所は全て調べるルールなのに、東京都では 2004 年以降に抽出調査が行われていたこと、2018 年 1 月から全数調査に近づけるため、内密に補正処理をしていたことが分かっています。また、厚労省は 2004~2011 年の調査データの一部を廃棄、紛失したことも明らかにしました。

これによって、本来受けられる雇用保険や労災保険の給付が受けられなかった人が

2 千万人以上いるという重大な問題が生じました。

### 追加給付とシステム改修

## 巨額の費用！

追加の給付に必要な経費は約 795 億円、事務費やシステム改修に約 200 億円が必要など、大変な問題です。労働者や企業が負担した保険料から、新たに支払われることにならないか、心配です。本来は労働者の給付に充てる財源で不祥事の後始末に使われることは、納得がいきませんね。

さらに、未支給分の給付も難題があります。約 2 千万人の対象者のうち、約 1 千万人の住所が把握できません。既に死亡している人もいる可能性もあります。

#### ◎過去の不祥事「消えた年金問題」

過去の、同様の不祥事の例で見ますと、2007 年に約 5 千万件もの年金記録の持ち主がわからない不祥事が発覚した際、首相は「最後の一人、最後の 1 円まで年金を支払う」と繰り返したのに、結局、持ち主が判明したのは約 6 割にとどまりました。

しかも、その消えた年金の解明費用として約 4 千億円が投じられました。今回も、その再来とされないかと心配されます。

厚労省が特別監察委員会を設置しましたが、どこまで独立性が保てるのか疑問が残ります。政権に責任ある対応を求めます。

## 袖ヶ浦地域

# とんと焼き

2019年1月13日（日）、袖ヶ浦西近隣公園で、袖ヶ浦公民館事業「とんと焼き」が催されました。

現在袖ヶ浦地域では、年末・年始の地域行事として「門松づくり」、「とんと焼き」、「節分豆まき」の3つの行事が行われています。

袖ヶ浦地域は、50年以上前に埋め立てによってできた地域であるため、比較的歴史が浅く、神社等ありません。歴史的な伝統行事はありませんでした。そんな中、地域の人たちは、伝統的行事を子どもたちに体験して欲しいと思い、様々な行事を催すことにしました。

この日は、これらの行事の一つである「とんと焼き」が行われ、晴天の下、たくさんの地域の人たちが訪れ、火の輪くぐり、餅焼きも楽しみました。



## 成人式典 新成人を祝う集い

1月14日、習志野文化ホールにて、「成人式 新成人を祝う集い」が催されました。今年は2,167名の新成人が誕生し、生き生きと希望に満ちた若者が、晴れ着姿に身を包んで集まりました。



今年は大規模改修が完了した習志野文化ホールで、初めて2千名を超える多くの新成人を対象として集いが催され、たくさんの来賓から祝福を受けました。

習志野市の「新成人を祝う集い」は、出身の市立中学ごとに分かれて席につくため、久しぶりのクラス会のような、懐かしく、楽しい集まりとなります。

今年も、新成人にエールを送ります。「頑張れ！」